

平成25年度 障害者雇用促進セミナー(第2回) 資料

平成25年10月12日

仙台市における 高次脳機能障害者支援について

仙台市障害者総合支援センター
(ウェルポートせんだい)



1

目次

- I 高次脳機能障害について
- II 仙台市の支援
 - ・ウェルポートせんだいでの高次脳機能障害者支援事業
 - ・当セミナーの紹介

2

I 高次脳機能障害について

高次脳機能障害

---原因・症状(1)

- ◆事故や転落などによる外傷性脳障害
- ◆脳血管障害、脳腫瘍、脳炎、低酸素脳症などの疾患



脳の一部が損傷を受けることで
記憶・意思・感情などの
高度な脳の機能に障害が現れる場合があります

高次脳機能障害

---原因・症状(2)

◆多様な症状があります

- ・失語
- ・失行
- ・失認
- ・注意障害
- ・記憶障害
- ・遂行機能障害
- ・行動と情緒の障害
- ・社会的行動障害 など

5

高次脳機能障害って

---なにが問題？

- ◆身体的な後遺症を残さない限り、外見上障害のあることがわかりにくい。
- ◆意識の回復とともに現れることが多い治療の過程では気づかれないこともある。
【生活障害】
- ◆症状は生活に係わる活動をしないとわかりにくく、生活環境により変化する。
【状況依存的】
- ◆周囲の理解を得られにくい。
- ◆自分も気づいていない。【病識欠如】



みえない障害 → 支援の谷間に陥りやすい

高次脳機能障害

---患者数は？

■ 推計

・・・全国に30万人？、50万人？

県内では？・・・

仙台市内では？・・・

※診断を受けている人、いない人
※障害者手帳の所持者数では計れない



7

制度の谷間とは？

★障害福祉制度の谷間にあって、

必要なサービスが受けられなかった



⇒身体障害を合併して身体障害者手帳を取得していることが多い
約5割は身体障害を合併している
⇒身体障害を伴わない高次脳機能障害者は**精神保健福祉手帳**を取得するようになっている

(神奈川県リハビリテーション支援センター編
高次脳機能障害相談支援のてびきより 引用)

8

高次脳機能障害って

---どんな支援が必要？

いわゆる「支援の谷間」、「制度の谷間」

- ◆連続した「切れ目ない」支援
医療から地域生活、社会復帰へ
- ◆人生を通した支援～家族を含めた支援
長期戦、継続性が大事
- ◆生活を通してのリハビリテーション

9

高次脳機能障害って

---どんな支援が必要？

- ◆個性が高い **オーダーメイドの支援が必要**
- ◆生活障害、状況依存的 **みえにくい 気づかれにくい**
- ・包括的な支援
- ・「みえない」を「みえる」化する
- ・多職種がチームで取り組む
- ↓
- ウェルポートせんだいでの「総合相談」



10

Ⅱ 仙台市の支援

1. 障害者総合支援センター

(ウェルポートせんだい)

- ◆主に18歳以上の障害者を対象とした相談・支援を行っています。
- ◆仙台市が設置・運営する相談機関です。

※身体障害者福祉法第11条

都道府県は、身体障害者の更生支援の利便のため、及び市町村の支援の適切な実施の支援のため、必要の地に身体障害者更生相談所を設けなければならない。

■ 2つの大きな柱

○ 身体障害者更生相談所としての機能

身体障害者に対する専門的な相談・支援や、医学的・心理的及び職能的判定等を実施

○ 地域リハビリテーションを推進する中核機関

どのような障害があっても、ご本人の望む場所で
その人らしく生活できる地域づくりを推進



12

ウェルポートせんだいの理念

「生きる」を総合的に支える

多くの力を総合して支える

支援の谷間なく支える

13

ウェルポートせんだい 職員の構成

14

ウェルポートせんだいの業務

- 身体障害のある方に対する専門的な相談支援
- **支援の難しい障害のある方やその家族への支援**
高次脳機能障害、中途視覚障害、難病、コミュニケーション支援
- 調査研究と普及啓発
- 人材の育成

15

高次脳機能障害
国・宮城県・仙台市の取り組み

16

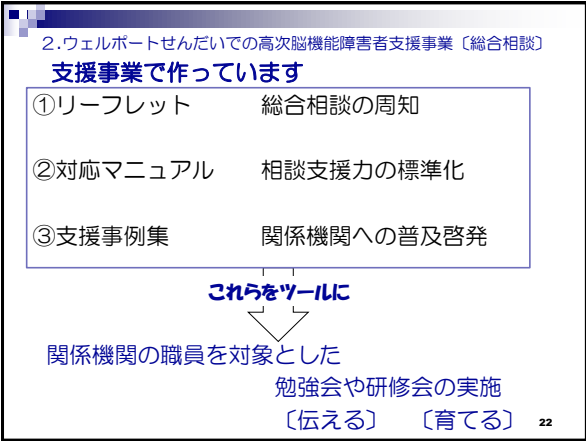
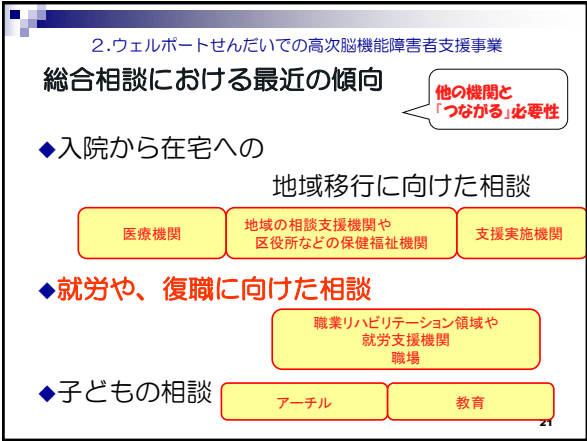
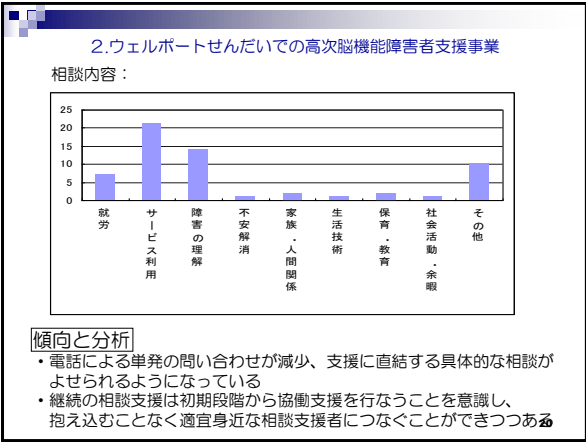
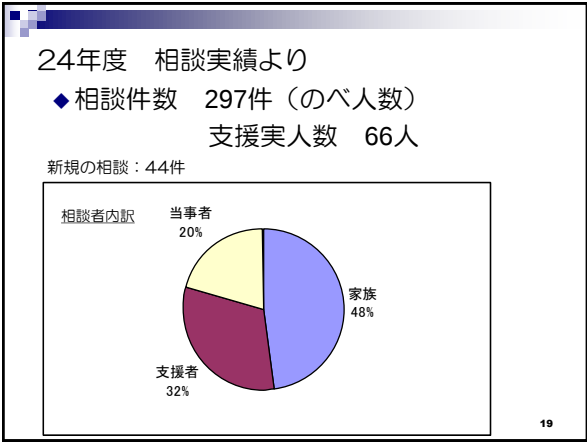
2. ウェルポートせんだいでの
高次脳機能障害者支援事業

- ◆ 事業目的：
高次脳機能障害者が、身近な支援機関で
切れ目のない支援を受け、
地域で自立した生活を送ることができるようになるための
システムを作ること
- ◆ 事業目標：
ウェルポートの機能や役割を関係機関に「伝える」こと、
関係機関の状況を「調べる」こと、
当所の実践を基に関係機関を「育てる」ことを目標とする

17

2.ウェルポートせんだいでの高次脳機能障害者支援事業

18



市民の方向け リーフレット

高次脳機能障害 総合相談

まずは、電話でお問い合わせください

高次脳機能障害とは、脳血管障害や脳外傷、感染症、中毒、脳腫瘍、脳手術後の後遺症などによって、記憶、学習、判断、計画、実行などの脳機能に障害が生じ、日常生活に支障をきたす状態を指します。

高次脳機能障害 総合相談のしおり

高次脳機能障害者支援センター ウェルポートせんだい

23

高次脳機能障害とは

交通事故や脳卒中、脳腫瘍、感染症、中毒、脳手術後の後遺症などによって、記憶、学習、判断、計画、実行などの脳機能に障害が生じ、日常生活に支障をきたす状態を指します。

高次脳機能障害者支援センター ウェルポートせんだい

24

3. さいごに ～高次脳機能障害の就労支援～

- ◆復職に向けての支援（リワーク支援）
- ◆新規就労に向けての支援

○復帰や就職がゴールではありません
・・・継続、定着への支援が重要

○働き続けるためには...サポーターも大事（とくに身近な人）
本人にとっては { 生活面での安定（きちんと食事や睡眠をとれること）
健康管理や精神面の安定
家族員も安定していること



とても大切です！



当セミナーについて

高次脳就労支援ワーキンググループ（H22年）



高次脳機能障害者就労支援連絡会議（H23年～）

- 障害者支援課
- 障害者就労支援センター
- 障害者総合支援センター



- ◆「働く高次脳機能障害者からのメッセージ」
は今年で3年目

26

ご清聴ありがとうございます。



仙台市障害者総合支援センター
ウェルポートせんだい
〒981-3133
仙台市泉区泉中央2-24-1
Tel 022-771-6511 Fax 022-371-7313
<http://www.city.sendai.jp/d01/wellport.html>

27